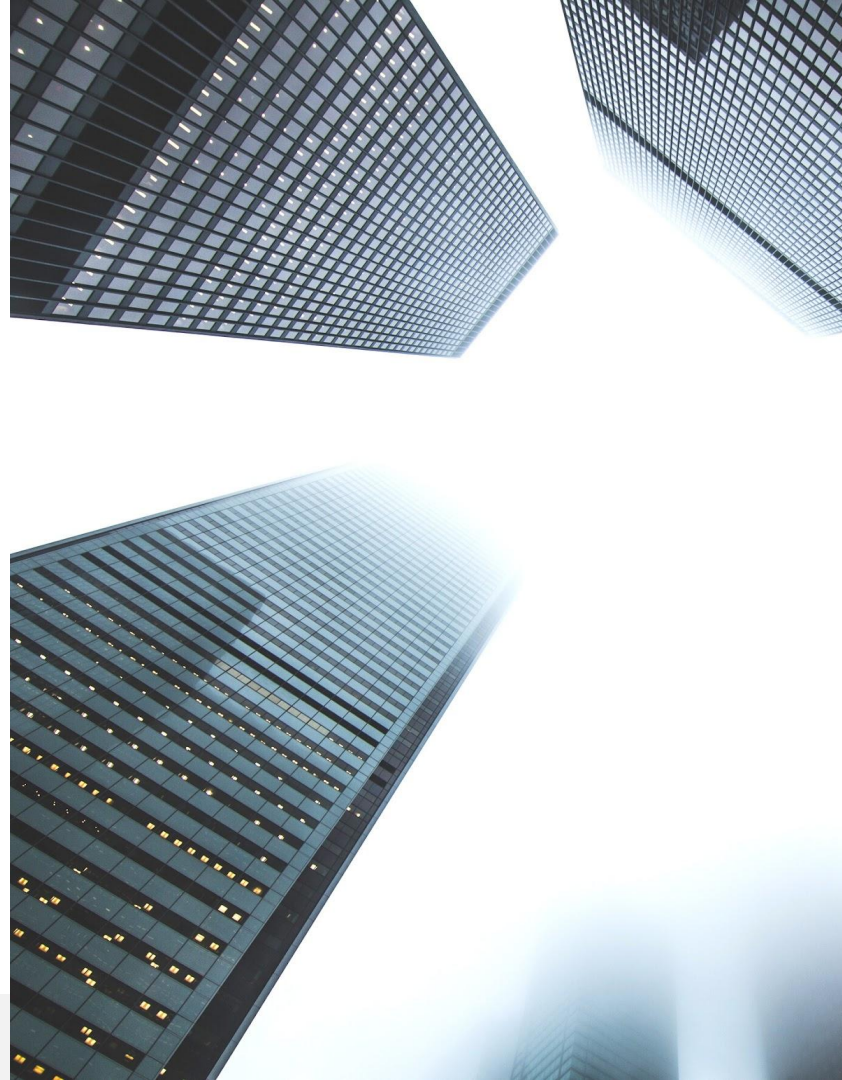


成基総研

# DX・AI活用リスティング研修 支援サポートのご案内 [2024年度版]

---

株式会社成基総研



# 成基コミュニティグループ概要

- 1962年に京都で創業、現在関西圏中心に約 150教場を展開する総合教育機関。
- 会長は2013～2021年まで安倍内閣下で「教育再生実行会議」の有識者委員を務め、2021年からは議員連盟「教育立国推進協議会」の発起人を務める教育界の第一人者。

(株)成基総研  
会社案内



## 未来への準備、 のための準備。

予断不可能と言われるこの時代、未来を語るイシューは、先んじて自らを変化し、  
社会変化のきっかけにならない人だ。であるならば、私たちが変化の渦の中心に立ち、  
未来のどこにない、時代に必要とされる「シナ・教育」を生み出し続けなければならない。

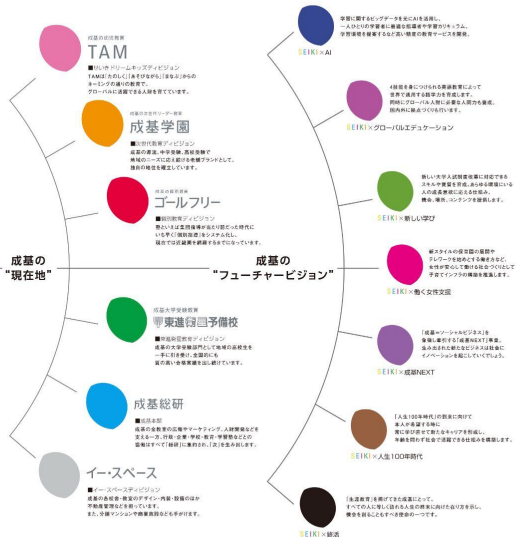
ここに次世代の理想の教育の形を構築・具現化し続け、  
今のSGCの教育体制は構築されてきた。しかし、もろもろこれを超える必要はない。  
時代は、変わり続ける。だから成基も、変わり続ける。変えられ続ける。



### 成基100年構想

この先もずっと成基が成基であるために。  
2022年、成基コミュニティグループ30周年特別発表会開催

- 2022年、30周年までに実現します。
1. 100年を以て目指すための成基独自の成長戦略が実行される 日本一
  2. 安心して暮らすことができる 日本一
  3. 未来の夢(目標)を実現し、誰もが「夢」を叶えていくことができる 日本一
  4. エンパイアビル(学生スタッフ)の取壊 日本一
  5. 新たな学び舎(校舎)の完成 日本一
  6. 学生の活動(成果)の発表がある教室 日本一
  7. 授業が生き生きと、やりがいを持って教える 日本一
  8. 教員としての成長機会 日本一
  9. 教員教育コンテンツ提供力 日本一
- 2042年、60周年までに実現します。
1. 日本中の大学や専門学校に学ぶ人(学生)が教育機関 日本一
  2. 100%の教育機関が生涯学習施設 日本一
- 2062年、100周年までに実現します。
1. 世界の大学や専門学校に学ぶ人(学生)が教育機関 日本一





Background

# 取り組みの背景

---

## 世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)



2018年1月13日 世界経済フォーラム(ダボス会議)

2018年以降「**リスクリング革命**」と銘打ったセッションが行われている。

「**2030年までに全世界で10億人をリスクリングする**」という宣言も。

## リスクリング施策の契機



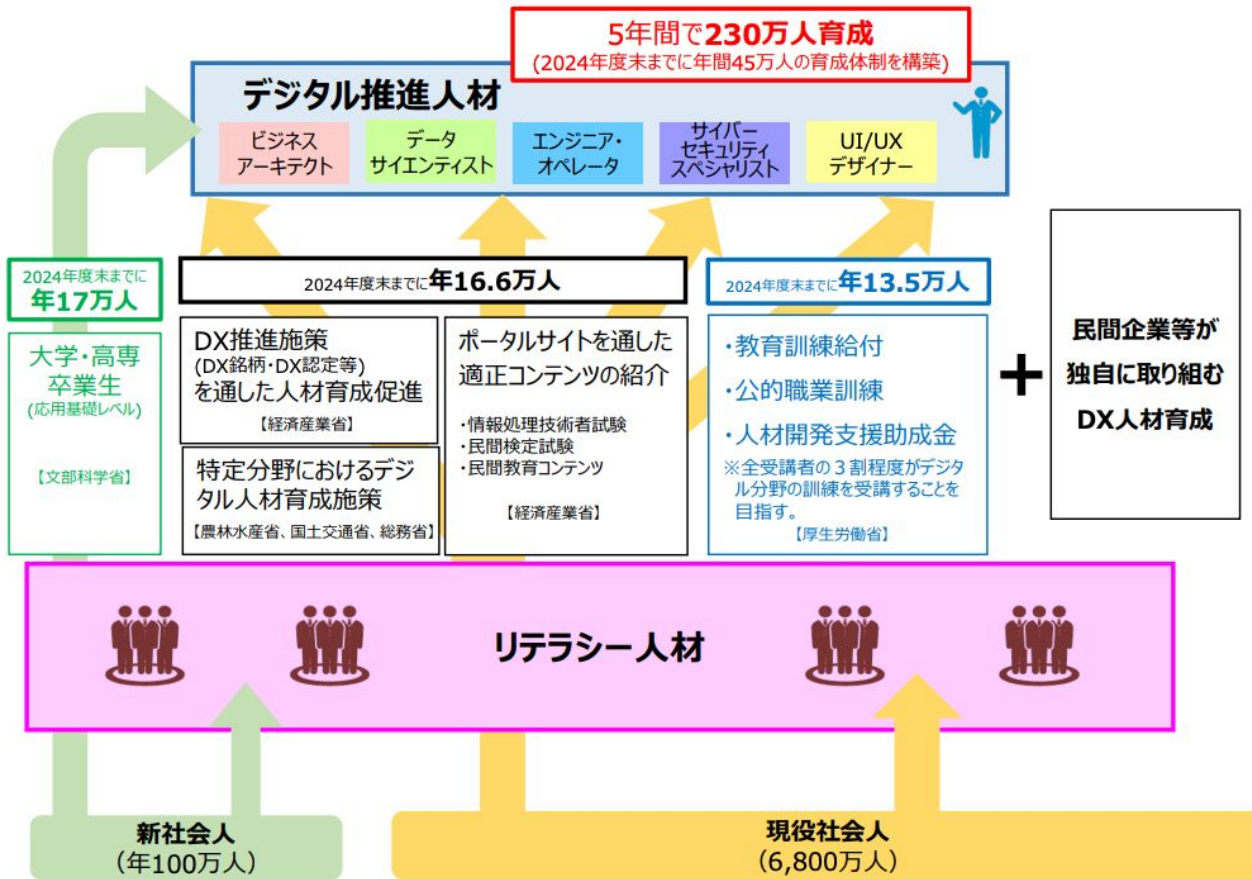
2022年10月3日 衆議院本会議で所信表明演説をする岸田文雄首相(※当時)

2022年10月、岸田内閣総理大臣 (※当時)の所信表明演説にて


「個人のリスクリングの支援に 5年で1兆円を投じる」

と表明され、リスクリングの支援に対する新たな

助成金制度も新設された。



出典 デジタル田園都市国家構想担当大臣 若宮 健嗣氏  
「デジタル人材の育成・確保に向けて」(令和4年2月)

A low-angle, upward-looking photograph of several modern skyscrapers with glass facades, reaching towards a clear blue sky. The buildings are arranged in a circular pattern around the center of the frame, creating a sense of height and scale. The lighting is soft, suggesting either dawn or dusk.

Course

# ご用意がある講座

---

# 生成AI活用・課題解決力強化研修

## 対象者

- ・生成AIを未活用の方
- ・生成AIの活用が不十分な方

## 受講形式

eラーニング  
(LMSによる学習管理機能付)

## 受講費用

135,000円(税別/1名様毎)  
※人材開発支援助成金の利用可

## 内容(カリキュラムの一部抜粋)

- ・AI時代に求められる人材とは
- ・生成AIの発展と拡大する影響
- ・企業と個人におけるDX
- ・生成AI活用/不活用で広がる格差
- ・生成AIが用いている技術
- ・AIを扱う際の注意点
- ・日々の業務で生成AIを活かすには
- ・プロンプトエンジニアリング基礎
- ・生成AIにプロンプトを生成させる
- ・生成AIを使った壁打ち手法
- ・生成AIの特性を踏まえた業務フロー
- ・生成AIを活用する為に必要な思考力
  - ロジカルシンキング
  - MECEの概念とロジックツリー
  - 課題思考、仮説思考、多角的思考
- ・DX推進で効果的な業務の取り組み方
  - 課題とタスクの違い
  - 業務を構造的に理解する
  - 이슈を特定するためのテクニック
- ・生成AIを使って企画書を作成する
- ・生成AIの回答を活かす創造的問題解決法
- ・ケーススタディ

## 受講時間目安

約12時間





## 講師プロフィール



ひろせ あきと

### 廣瀬 哲人

AI(人工知能)技術のビジネス活用など、  
デジタル技術に精通した専門家として、  
ChatGPTなど生成AIの活用やDX人材の育成に  
関する研修・セミナー・講演講師を務めている。

#### 経歴

株式会社ENロジカル 代表取締役

京都大学医学部医学研究科在籍中に株式会社 ENロジカルを設立

# LLM編では500枚以上のスライドを使って説明

## AIはどうやって人間の言葉を理解しているのか

AIに人間の言語を理解させたい

機械にいきなり話しかけても理解してくれない。  
なぜなら、機械には機械なりの言語があるから。

(例) 日本人が日本語でアメリカ人に話しかけても話が通じない



人間の言語から機械の言語へ、  
変換する何らかのプロセスが必要

## プロンプトとは

AIに対して指示する指示文や質問文のこと。



〇〇について教えて

〇〇の文章を考えて

LLMなど自然言語処理AIに対して、効果的なプロンプト設計を行うことを  
「プロンプトエンジニアリング」という。

## プロンプトフォーマット

以下のプロンプトのフォーマットを活用して、  
より精度の高いプロンプトを作成する。

項目	例
依頼内容	イベント案の列挙。
背景	塾への集客に繋がるような集客イベントを考えて欲しい。 小学生がターゲット。
回答する人の設定(あれば)	企画のプロフェッショナル。Z世代に精通。
回答条件	箇条書きで10個案が欲しい。
付加情報	#条件 案はより具体的な内容が分かるものが良い。 タイトルに数値を含めて欲しい。

## LLMはどんな存在なのか？

「LLM=多機能な電子辞書」であると捉えるべき。

→入力に対して回答を出すもの

言い換えると

- ・指示されたことしかできない
- ・自分自身で何かをすることはない
- ・プログラミングされていない計算は出来ない



## 多角的思考とはどういうこと？

### ①輸出企業の視点

円安

日本製品の価格競争力が高まるため、  
輸出企業には有利に働く。  
海外市場での販売が増えれば、  
企業の収益は上がる。

円高

日本製品は割高となり、  
輸出が不利になる。



## 本講座の復習

### イシューとは (5章)



イシューとは、答えるべき問いや  
議論すべき問いのこと。

課題の中のさらに重要な課題を指し、  
問題解決における  
センターピンである。

# 講義の後に実務を想定した演習課題を設け、学習後すぐに実践可能なカリキュラム

## ■演習課題(一部抜粋)

### 今回のケーススタディ

(1) 売上向上の施策を10個出してください。

#### プロンプト

あなたはラーメン店の売上向上コンサルタントです。コンサルティングに入る店舗が夏シーズン到来の今、売上が伸び悩んでおり、売上向上の施策を考える必要があります。以下の条件を踏まえて売上向上の施策を10個ほど出してください。

#### #条件

- ・ラーメン店は駅前に存在する。

### 今回のケーススタディ

#### 問いの背景

多角的思考を働かせて、複数の立場における意見を考えながら解決策を講じる練習をします。

#### 設問

オフィスの移転計画について、可能な限り多くの視点から考えうる意見を出し、自分なりの結論を出してください。

### ケーススタディ

「④組み立て方を指示する」プロンプトを考えてみる

#### 設問

業界No.5ということで、どうしても採用で他社に負けてしまっているハウスメーカーの新卒採用戦略を考えてください。

### ケーススタディ

#### 問いの背景

あなたは、創業100年の歴史を持つ老舗文具メーカーの経営企画部に所属しています。長年、高品質な筆記用具を中心に事業を展開し、多くの顧客から支持を得てきました。しかし、近年は、デジタル化の波や、低価格帯の海外製品の台頭により、業績は低迷しています。この状況を打破するため、今後のあるべき姿、新しいビジネスモデルを検討するプロジェクトチームが発足しました。

#### 入手している情報

1. 市場環境パーバレンス化の影響で、筆記用具の市場規模は年々縮小傾向
2. 海外製の低価格な筆記用具が市場に多く出るようになり、価格競争が激化
3. 若年層を中心に、筆記用具への支出額が減少傾向
4. 高齢者層は、従来からの高品質な筆記用具を好む傾向だが、購買頻度は減少
5. 長年培ってきた技術力とブランド力には定評がある
6. 高品質な筆記用具の製造を得意とする一方、低価格帯製品の開発・製造は苦手
7. オンライン販売は前例的に導入しているものの、売上は低迷
8. 近年、サステナビリティへの意識の高まりから、環境に配慮した製品への関心が高まっている
9. 働き方改革や個性を重視する風潮から、オフィス環境や仕事道具にもこだわる人が増加

### 今回のケーススタディ

#### 問いの背景

とある対象について、MECEにロジックツリーで分解する練習をします。

#### 設問

病院の関係者をロジックツリーで分類してください。要素の分け方は自由ですが、必ず3階層以上作成してください。※できるだけ多く出してみてください！

### ケーススタディ

#### 問い

自社の既存ウェブサイトが古く、デザインやコンテンツをリニューアルすることになりました。外部ベンダーと協力しながら、6ヶ月のプロジェクト期間、制作費300万円でリニューアルを進めます。社長はWeb予約システムと、お客様の声紹介ページは必須だと言っています。

#### 設問

- (1) 既存ウェブサイトのリニューアルを進めるにあたり、問いの背景を考慮しながら、「製品・成果物スコープ」「プロジェクト範囲」「制約条件」3つのスコープを記述してください。
- (2) LLMを活用して、既存ウェブサイトのリニューアルを進めるにあたり、WBSを作成してみてください。その際、設問(1)で考えた3つのスコープを含めてください。
- (3) LLMを活用して、このプロジェクトにおけるリスクを洗い出し、それぞれの発生確率・影響度と対処法をマトリクス表で整理してください。

A low-angle, upward-looking photograph of several modern skyscrapers with glass facades, reaching towards a clear blue sky. The buildings are arranged in a circular pattern around the center of the frame, creating a sense of height and scale. The lighting is bright, suggesting daytime.

Subsidy

# 今回の助成金について

---

# 人材開発支援助成金「事業展開等リスクリング支援コース」

企業内での人材育成に取り組む事業主の皆さまへ

## 人材開発支援助成金 (事業展開等リスクリング支援コース) のご案内 (詳細版)

### 概要

▶人材開発支援助成金(事業展開等リスクリング支援コース)は、新規事業の立ち上げなどの事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に対して新たな分野で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。

▶当冊子では●印のコースについて取り扱っております。

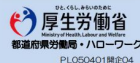
人材育成支援コース	—
教育訓練休暇等付与コース	—
建設労働者認定訓練コース	—
建設労働者技能実習コース	—
障害者職業能力開発コース	—
人への投資促進コース	—
事業展開等リスクリング支援コース	●



詳しくは、厚生労働省または都道府県労働局のホームページをご覧ください。

人材開発支援助成金 厚生労働省

検索



・厚生労働省が定めている助成金制度

・研修費用や研修期間中の賃金の一部が助成される

・従来コースは **経費助成率45%、年間1事業所1000万円**の受給が  
(大企業の場合30%)

上限だったが、2022年12月に新設された本コースでは、

**経費助成率75%、年間1事業所1億円**へと上限が大幅に上昇。  
(大企業の場合60%)

## 助成金支給の可否について

- ・今回ご提供する研修に関して、必ず厚生労働省より助成金支給の承認が  
おこなわれることを保証するものではありません。
- ・助成金支給の可否は、あくまでも、「事業主」「労働者」「研修内容や  
実施方法、研修の種別、対象経費」「手続き」「適切な労務管理」等、  
様々な要件の確認を実施したうえで決定される点にご留意ください。

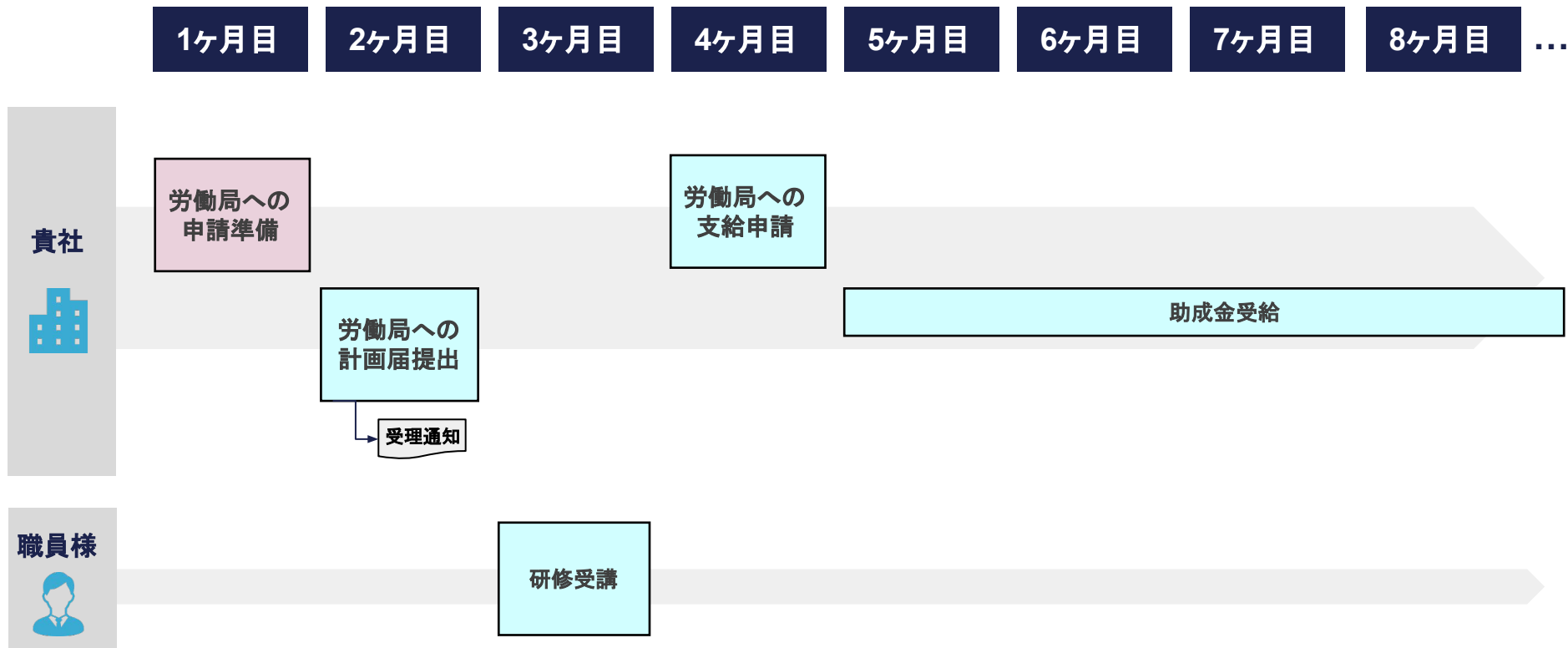
A low-angle, upward-looking photograph of several modern skyscrapers with glass facades, reaching towards a clear blue sky. The perspective creates a sense of height and scale. A dark, semi-transparent horizontal band is overlaid across the middle of the image, containing text.

About

# 申請にあたって

---

## 研修実施の流れ(最短時の目安)





## 着手する場合の段取り・フローの流れ(概要)

### 研修実施前・準備期

Step1

初回打ち合わせ  
・研修の要件定義  
・助成金申請手順の共有  
(社労士より)

Step2

・社労士へ助成金  
関連資料のご提供  
・必要な社内対応の実行

Step3

助成金 計画届を作成  
(社労士)

**研修開始の1ヶ月前まで**

Step4

職業訓練実施計画届  
労働局へ提出

### 研修実施後

Step1

社労士へ  
助成金関連資料の  
ご提供

Step2

助成金 支給申請書類  
を作成(社労士)

**研修終了から2ヶ月以内**

Step3

支給申請  
労働局へ提出

Step4

※審査に通って支給が決定すれば  
支給決定通知書の送付  
助成金の受給

※都道府県によって支給決定時期は異なります

# 本プロジェクト実行のために必要な事項

## 研修コンテンツとシステムの提供



- ・eラーニング教材のご用意
- ・LMS受講環境のご用意
- ・受講状況の進捗管理
- ・レポートの確認、承認、差し戻し
- ・サポートデスク
- ・(オプション)独自研修の作成

## 社内調整、周知

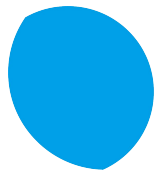


- ・役員会でのプレゼン資料の作成
- ・研修受講者への説明会資料の作成

## 労働局とのやり取り



- ・計画届の書類作成代行
- ・支給申請届の書類作成代行



成基総研

# 株式会社成基総研

〒604-0857

京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 265-2

SCGビル3F

TEL : 075-746-3418

Mail : [consulting@mail.seiki.co.jp](mailto:consulting@mail.seiki.co.jp)

